

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 構成委員（学校外5名）
 - 西藤島公民館長（男1）
 - 日新公民館長（男1）
 - 明新公民館長（男1）
 - PTA会長（男1）
 - PTA副会長（女1）

※地域コーディネーター（3名）
各公民館館長 3名

(2) 協議会の内容

- 開催回数 年2回
- 開催日程 1回目…6月
2回目…2月
- 協議内容
 - ・学校運営に関すること。
 - ・地域の行事や活動への積極的な参加に関すること。
 - ・子どもの健全育成に関すること。
 - ・地域における課題や家庭における子育て等に関すること。

(3) 協議会における成果と課題

1回目は、校内合唱コンクールを鑑賞いただいた後、本校の教育活動について、本年度のスクールプランを基に御意見をいただいた。また、地域での子どもたちの様子を聞き、地域イベントのボランティア活動に積極的に参加する生徒が多いことを知ることができた。また、スマートルールについても話題になり、家庭での子どもたちの実態を把握することができた。2回目は、実際の授業の様子を参観していただいた後、学校評価の結果を基に、今年度の本校の現状について報告と御意見をいただいた。また、来年度計画されている行事等についても紹介をし、理解と協力をお願いすることができた。当初は3回を計画していたが、スケジュールが合わず、2回の開催となったのが残念であった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・自分たちが暮らす地域の一員として自覚をもち、自分達に何ができるかを考え、進んで活動しようとする態度を育成する。
- ・異学年集団での活動を通して、リーダー性の伸長や集団への所属感を強める。

(2) 活動の実際

社会貢献活動（11月6日実施）

①事前学習・打合せ会

校内縦割り班であるクラウド内で、出身校毎に3つのグループを作った。さらにその中で、7～8人の縦割り班を編制した。縦割り班のリーダーが、現地に下見に行き、清掃活動が必要な場所、活動内容、必要な道具等について地域コーディネーターと打合せを行った。その後、クラウド集会にて、当日までの予定と地域コーディネーターとの打ち合わせ内容を発表し、当日に向けた活動計画、役割分担、移動ルート等について話し合った。

②社会貢献活動当日

班毎に、担当場所へ徒歩で移動し、地域コーディネーターと共に出身地区の公園や神社、駅舎等の清掃活動や保育園や公民館での花壇の花植等、必要と思われる活動を行った。



(様式3)

③事後学習

班毎に、生徒達が自分達の活動を振り返り、活動の様子や成果を掲示物にまとめた。感想や写真を入れる等、子ども達自身でレイアウトを考えた。また体験活動を振り返り、気づいた地域の課題を洗い出し、さらに地域を美しくするための提案をした。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域の現状をよく知る地域コーディネーターに、清掃活動が必要な場所や清掃のやり方などについて指示をいただいた。クラウド内で、出身校毎（西藤島、日新、明新）に3つのグループを作り、さらにその中で、7～8人の縦割り班を編制した。縦割り班のリーダーが、現地に下見に行き、清掃活動の必要な箇所、活動内容、必要な道具等について公民館へ出向き、地域コーディネーターと打合せを行った。その後開かれたクラウド集会にて、当日までの予定と地域コーディネーターとの打ち合わせ内容を発表し、当日に向けた活動計画、役割分担、移動ルート等について話し合った。

(4) 特に工夫した事項

- ・校区内3地区の地域コーディネーターと連携し、地域の方と中学生が1時間でできるボランティア活動の内容を相談した。現地の下見を行った後、打ち合わせを行い、当日の活動を決定した。
- ・例年は、クラウド毎に地区を担当したが、より地域の一員としての自覚を持たせるために、今回からは出身地区を担当するようにした。2年生の代議員（クラウド長）がグループのリーダーとして活躍した。

(5) 成果と課題

リーダーを中心とした話し合い活動のなかで、自分たちに何ができるかを主体的に考え当日は積極的に活動することができた。日頃お世話になっている自分たちの地区を清掃することにより、これまで以上に地域の一員としての自覚が高まったように思われる。今後は、本活動をより効率的に地域にPRし、さらに多くの地域の方々の協力を得ながら、より美しい地域作りに貢献できるようにしていきたい。